

H28農事メモ(第3号)

平成28年5月25日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

白山石川グレードアップ米づくり運動実施中 田植えの1ヶ月後には中干し開始 干し期間は1ヶ月

的確な中干し・溝切りで高品質米を目指しましょう!!

水稻の生育状況

5月上旬までに田植えされた圃場では、強風による影響等から生育やや遅れている傾向です。
また、一部で植え傷みが散見されていますが、症状が激しい圃場は、過磷酸石灰(20kg/10a)を散布しましょう。

今後の気温は平年より高い予報です。
茎数が急激に増加することも予想されるので、中干し開始時期が遅れないようにしましょう!!

当面の栽培管理

(1) 中干し・・・過繁茂にならないよう早めに実施!

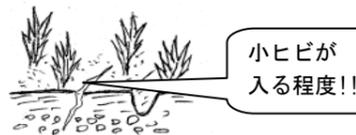
◎目標穂数の70%で開始

中干し開始時期の茎数の目安

コシヒカリ 14~15本/株 (5月連休植えの場合6月1日頃から)
ゆめみづほ 17~18本/株 (" " 6月1日頃から)

◎方法 1日通水・3日落水を数回、繰り返す。
(間断通水で根に酸素と水分を供給しましょう)

◎留意点 ①中干し程度は田面に小ヒビが入る程度とする。
②干しすぎたり大ヒビを入れると、根を傷めたり圃場の水持ちが悪くなることもある。



見た目には細いが、中干し開始時期です!



中干しまでの水管理

- ◎好天の日中は浅水管理をし、水温・地温の上昇を図り分けつの発生を促しましょう。
- ◎中干しまでに田干しを2~3回し、土壌中のガスを抜き根の健全化を図りましょう。
- ◎表層はく離・アオミドロ等の発生が多い圃場では落水・軽い田干しを行いましょう。

(2) 溝切り・・・中干しや入排水の効果を高めるため、必ず設置!
溝切りの実施で登熟後半までの水管理が容易になります
⇒ 秋まで残る「きれいな溝」を目指しましょう!

◎きれいな溝をつくるポイント

- ・溝切りの3~5日前に軽い田干しを行い、溝切り直前に通水しましょう。
- ・15~30条おきに溝を切り、各溝は排水口と必ず連結し、
- ・圃場の水たまりが溝に流れるよう工夫して溝を切りましょう。



《生育に応じた分けつ盛期(6月上旬)の対応》

生育状況	対応
生育が早い、旺盛な場合	田干しの後、溝切り、きっちりとした中干しを行う。
生育が遅い、虚弱な場合	浅水管理で分けつの発生を促し、軽めの中干しから始める。

溝切り・中干しの効果

中干し	<ul style="list-style-type: none"> ・無効分けつの抑制によって株内環境が向上し、茎が充実するため、倒伏が軽減します。 ・土中への酸素供給や有害ガスの放出により、根が広く深く張ります。 ・ほ場の地耐力が高まることで、収穫の機械作業が容易になり、適期収穫につながります。
溝切り	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場全体に水が効率よく行き渡るので、均一な水管理ができます。 ・収穫直前まで通水できるので、乳白粒や胴割粒を抑制します。 ・登熟期のフェーン風等、緊急時においても迅速に通水できます。



JA 松任 省力型溝切り作業実演会 (別紙参照ください) **多くの皆さまのご来場お待ちしております!!**
6月1日(水) 13:30~ 徳光町(株)アグリとくみつ様 圃場

5つの一ヶ月対策展示園(赤色ののぼりが目印です!)

下記の展示園では、水管理に関する5つの一ヶ月対策を実施中です! 参考にして下さい。

設置場所		場所
JA支店	集落名	
北星支店	竹松町(浜竹松)	さくらたまごさん~村井新の間
中央支店	宮丸町(道村)	道村交差点近く
西南支店	小川町	農免道路沿い 小川交差点近く
松南支店	剣崎町	剣崎交差点近く

濁水対策

- 本田への入水にあたっては、土砂の流入・拡散を軽減するため以下に留意願います。
- ・降雨日やその翌日など、用水の濁りが強いときは本田への入水を控えましょう。
 - ・除草剤を使用する際は、濁った状態で使用せず、泥を落ち着かせてから散布しましょう。

2 雑草管理

(1) 本田(「2016 営農のてびき」の23 ページも参照してください)

○ノビエの取りこぼしが多いとき 《ヒエ剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
ヒエクリーン 1 粒剤	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布
クリンチャー 1 粒剤	移植後 7 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 30 日前まで) 移植後 25 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	1 kg 1.5kg	2 回以内	
クリンチャーEW	移植後 20 日～ノビエ 6 葉期 (但し、収穫 30 日前まで)	100mℓ 希釈水量 100ℓ	2 回以内	落水散布

○広葉雑草の取りこぼしが多いとき 《広葉剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
バサグラン粒剤	移植後 15～55 日 (但し、収穫 60 日前まで)	3～4 kg	1 回	落水散布または ごく浅く湛水して 散布
バサグラン液剤	移植後 15～55 日 (但し、収穫 50 日前まで)	500～700mℓ 希釈水量 100 ℓ	2 回以内	
粒状水中MCP	有効分げつ終止期～幼穂形成期前 (但し、収穫 60 日前まで)	3～4.5kg	1 回	湛水散布

○ノビエ・広葉雑草とも混在するとき 《ヒエ剤+広葉剤》

薬剤名	使用時期	使用量 10a 当たり	本剤の 使用回数	使用方法
アトトリ 1 粒剤	移植後 20 日～ノビエ 4 葉期 (但し、収穫 45 日前まで)	1 kg	1 回	湛水散布
サンパンチ 1 粒剤	移植後 15 日～ノビエ 3.5 葉期 (但し、収穫 60 日前まで)	1 kg	1 回	
クリンチャーバス ME 液剤	移植後 15 日～ノビエ 5 葉期 (但し、収穫 50 日前まで)	1000mℓ 希釈水量 70～100ℓ	2 回以内	落水散布または ごく浅く湛水して 散布

農薬散布後の止め水期間は 7 日間！

本田粒剤や水田用除草剤の散布後 7 日間は落水やかけ流しをしない！！

水田内雑草の除草によるカメムシ対策について

近年、ヒエやホタルイ等、水田内雑草がカメムシの発生源、誘因源となって斑点米被害を増加させることがわかってきました。これらの雑草が水田内に多く生えてしまった場合、穂をつける前に中後期除草剤により除草をしてください。

作業のポイントのチェック！！

- 好天の日は浅水管理をしましたか？ 中干しまでに 2～3 回の田干しをしましたか？
 茎数を確認し中干しを開始しましたか？ 溝切りを実施しましたか？ けい酸加里の施用はできましたか？

**6 月中旬から 7 月上旬の畦畔除草でカメムシ類の生息密度を減らしましょう。
草刈り後の雑草は適切に処理しましょう(用排水路に流れないように注意)！！**

(2) 畦畔(「2016 営農のてびき」の 44, 45 ページも参照してください)

○水稻畦畔の除草体系の目安

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
本田作業等	耕代 か 起 き	田 植 え	梅 雨		出 穂	収 穫	
畦畔除草剤の 散布時期	耕起前～田植前	梅雨前	7 月 中旬	除草禁止期間		収穫後	
(参考) 雑草の発生状況	春草 スギナ		夏草 防除適期				

※斑点米カメムシ類の生息密度を下げるため、畦畔等の雑草地の除草を実施しましょう。
特に、出穂期前後の除草はカメムシ類の本田侵入を助長する恐れがあるので、7 月上旬の仕上げ除草を徹底しましょう。



○除草剤使用の注意点

- ・違った作物が隣接する場合には、両方に登録のある除草剤を使用して下さい。
- ・作物が違えば、同じ除草剤でも使用時期や使用量が異なることがあるので、使用方法等を確認してから散布して下さい。

※なお、大豆や大麦については、農薬登録上畦畔と本田の区別はありません。

3 病虫害防除

(1) 基幹防除 箱施薬剤(いもち剤)を使用しなかった場合は、本田で防除してください。

対象害虫	薬剤名	使用量 10a 当たり	使用時期	本剤の 使用回数	注意事項
いもち病	オリゼメート 1 キロ粒剤	1 kg	6 月 11 ～15 日	2 回以内	湛水状態で播きムラの無いように 散布する

※補植苗の本田放置はいもち病の発生源となるので、
早急に除去しましょう！



(2) 随時防除 田まわりをこまめに実施し、発生が見られたら速やかに防除しましょう。

※常発地や昨年発生が見られた地域は田まわりを徹底しましょう

対象害虫	薬剤名	使用量 10a 当たり	使用時期	本剤の 使用回数	注意事項
ニカメイチュウ	パダン粒剤 4	3 kg	6 月上旬	6 回以内	湛水深 3～5 cm で散布し、4～ 5 日間は湛水状態を保つ
フタオビコヤガ (イネアオムシ)	パダン粉剤 DL	4 kg	6～7 月	6 回以内	周辺作物への飛散に注意する

4 けい酸加里の追肥

資材名	施用時期	施用量 10a 当たり	効果
けい酸加里プレミア	早生品種 6 月 15～25 日	40 kg	根の活力向上、倒伏軽減、 登熟向上
ファイトアップ	コシヒカリ 6 月 20～30 日	500g/10a	

※「土づくりゾーンサイクルプラン」を実施した圃場で、けい酸アップ・コシー発くんを施用している場合は省略できます。